
証券コード6859

**2022年度(2023年3月期)
第1四半期決算について**

**2022年8月23日
エスペック株式会社**

2022年度第1四半期 決算概要

エレクトロニクスおよび自動車関連が好調に推移し、受注高は大幅に増加
売上高は電子部品不足・上海ロックダウンにより伸びず、販管費の増加もあり営業損失

	前年同四半期比	予想比
■受注高	○ 装置事業(主に環境試験器)が大幅に増加	○ 装置事業(主に環境試験器)が引き続き好調
■売上高	○ 主に装置事業(環境試験器)とサービス事業(受託試験)が増加	× 全ての事業が下回る
■営業利益	× 主に受注拡大に伴う販管費の増加により営業損失	× 販管費は予想内に抑えたが売上高の減少により下回る
■経常利益	○ 為替差益により増加	× 営業利益の減少により下回る
■四半期純利益※	× 税金の支払いにより純損失	× 営業利益の減少により下回る

※親会社株主に帰属する四半期純利益

損益の状況

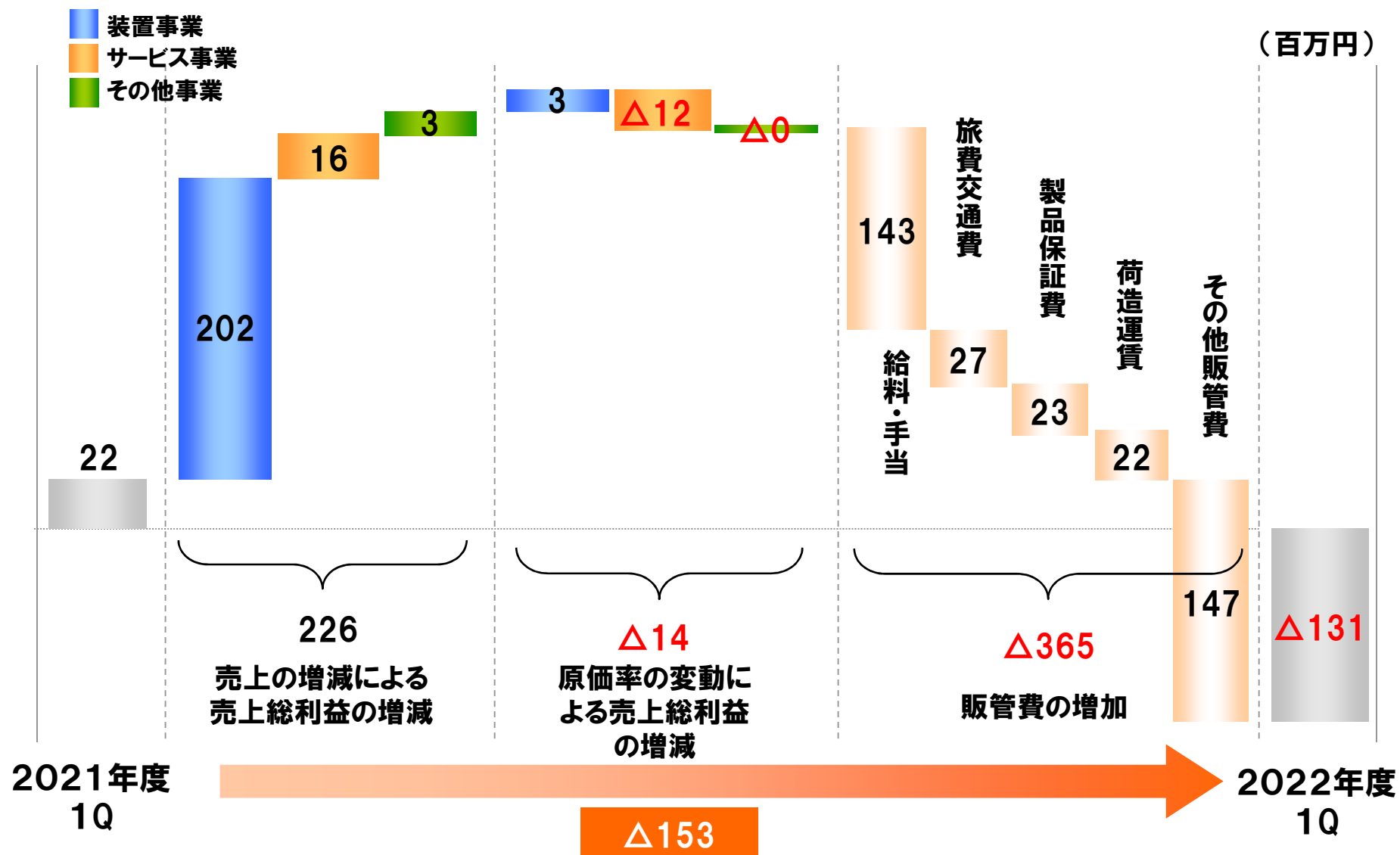
(百万円)

	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績	前年同期比
受注高	12,695	16,493	+29.9%
売上高	8,050	8,725	+8.4%
売上原価 (原価率)	5,356 (66.5%)	5,820 (66.7%)	+8.7% 0.2pt悪化
売上総利益	2,693	2,905	+7.9%
販管費	2,671	3,037	+13.7%
営業利益	22	△131	-
経常利益	87	111	+26.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△24	△62	-

セグメント別の損益の状況

		(百万円)		
セグメント		2021年度 1Q 実績	2022年度 1Q 実績	前年同期比
装置事業	受注高	10,737	14,406	+34.2%
	売上高	6,612	7,221	+9.2%
	営業利益	90	△45	-
サービス事業	受注高	1,744	1,820	+4.3%
	売上高	1,370	1,421	+3.7%
	営業利益	△6	△27	-
その他事業	受注高	274	334	+21.6%
	売上高	122	135	+10.4%
	営業利益	△61	△56	-
連結消去	受注高	△62	△67	-
	売上高	△56	△52	-
	営業利益	0	△0	-
計	受注高	12,695	16,493	+29.9%
	売上高	8,050	8,725	+8.4%
	営業利益	22	△131	-

営業利益の増減要因分析



※合計値は全体の売上総利益率を用いて算出しています。

装置事業セグメント

(百万円)

	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績	前年 同期比
受注高	10,737	14,406	+34.2%
売上高	6,612	7,221	+9.2%
営業利益 [利益率(%)]	90 [1.4%]	△45 [△0.6%]	-

環境試験器

- 国内では、受注は好調に推移し、受注高は汎用性の高い標準製品を中心に前年同期比で増加、売上高は標準製品・カスタム製品ともに増加
- 海外では、受注は好調に推移し、売上高は前年同期比で増加
中国、北米、欧州、東南アジア、台湾が増加

エネルギーデバイス装置

- 自動車関連の投資の回復により二次電池評価装置の受注を獲得
受注高は前年同期比で増加、売上高は電子部品不足による製品納期の長期化により減少

半導体関連装置

- 受注高・売上高ともに好調であった前年同期比で減少

サービス事業セグメント

(百万円)

	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績	前年 同期比
受注高	1,744	1,820	+4.3%
売上高	1,370	1,421	+3.7%
営業利益 [利益率(%)]	△6 [△0.5%]	△27 [△2.0%]	-

アフターサービス・エンジニアリング

- 保守契約など予防保全サービスが堅調に推移し、受注高・売上高ともに前年同期並み

受託試験・レンタル

- 受託試験が堅調に推移し、受注高・売上高ともに前年同期比で増加

その他事業セグメント

(百万円)

	2021年度 1Q実績	2022年度 1Q実績	前年 同期比
受注高	274	334	+21.6%
売上高	122	135	+10.4%
営業利益 [利益率(%)]	△61 [△50.4%]	△56 [△41.8%]	-

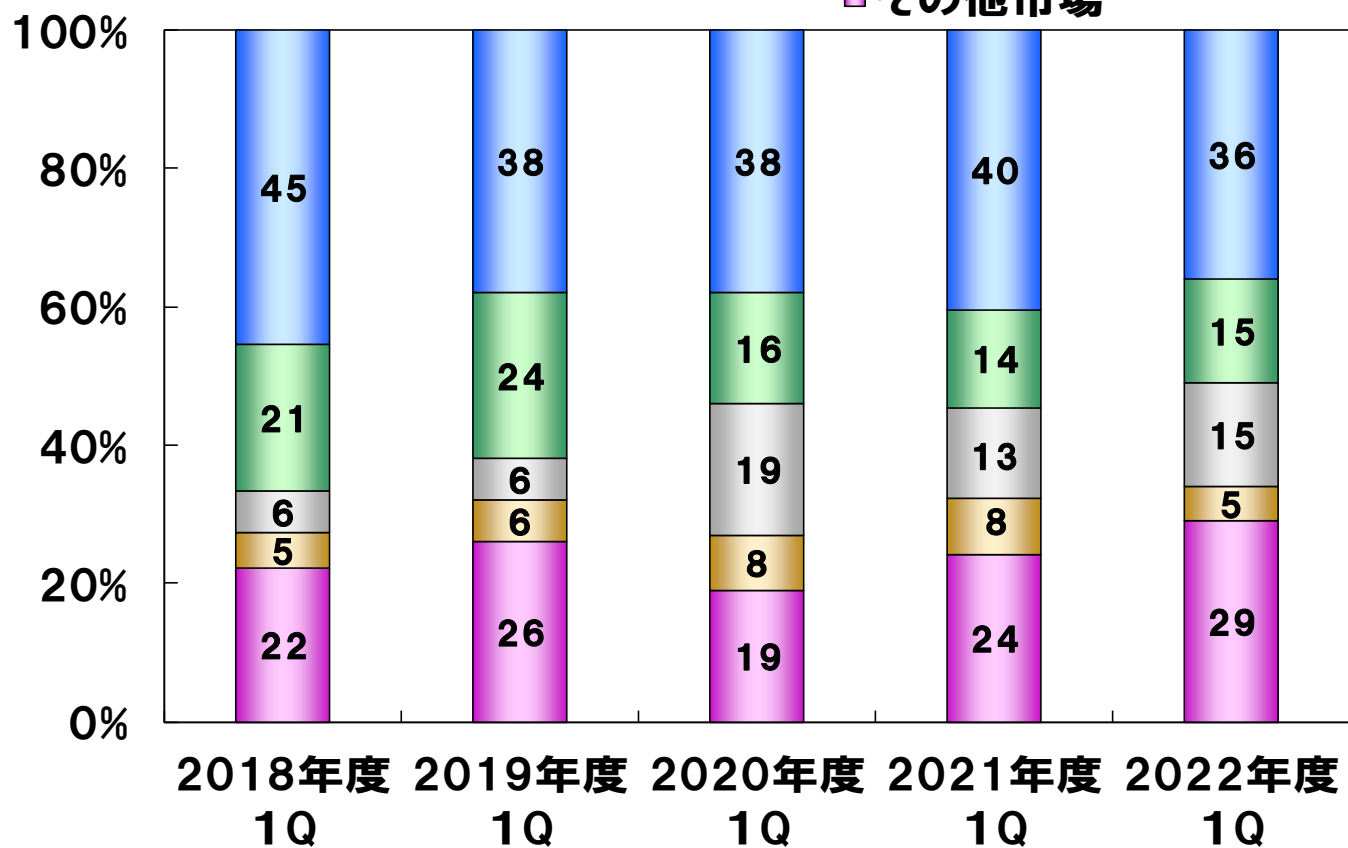
環境保全・植物育成装置

- 森づくりが堅調に推移するとともに植物工場の受注も獲得し、
受注高・売上高ともに前年同期比で増加

市場別売上構成比

単体(装置事業)

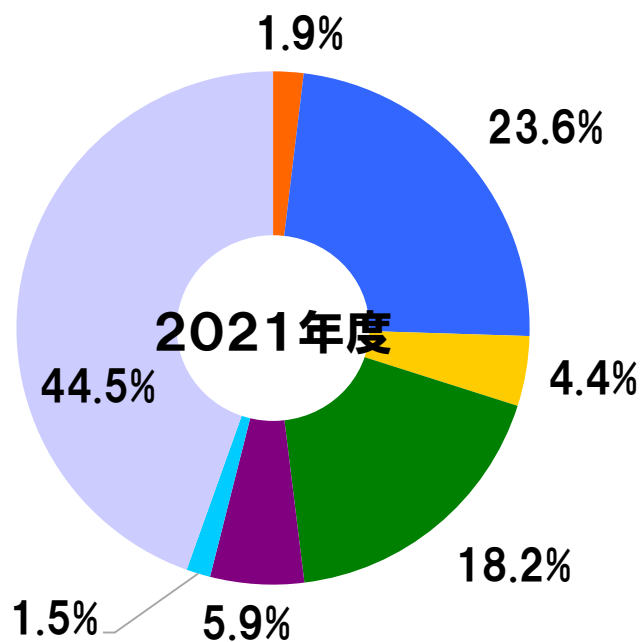
- 電子部品・電子機器市場
- 自動車市場
- 半導体市場
- 研究機関
- その他市場



地域別売上構成比

2021年度1Q

海外売上高比率:55.5%

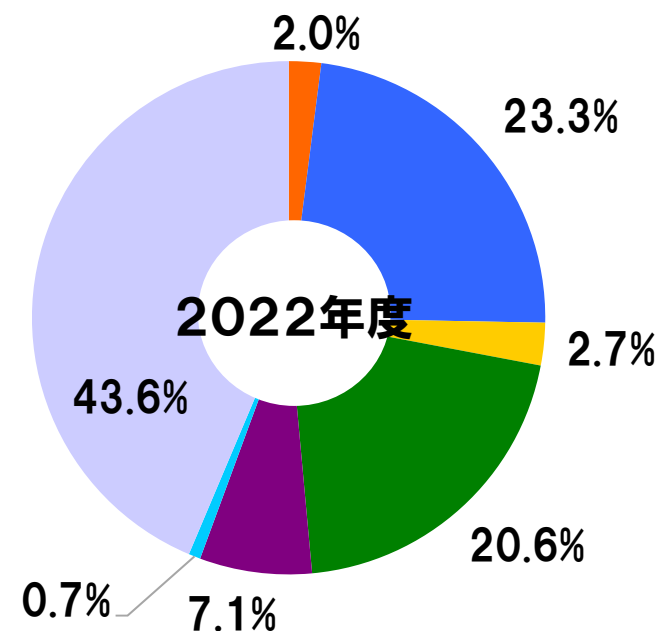


計 8,050百万円

(海外売上高:4,466百万円)

2022年度1Q

海外売上高比率:56.4%



計 8,725百万円

(海外売上高:4,918百万円)

2022年度 業績予想

(百万円)

	2021年度	2022年度				
	通期実績	1Q実績	予想			
			上期	下期	通期	前期比
受注高	51,303	16,493	24,000	26,000	50,000	△2.5%
売上高	41,852	8,725	23,500	26,500	50,000	+19.5%
売上総利益 [利益率(%)]	14,003 [33.5%]	2,905 [33.3%]	8,350 [35.5%]	9,650 [36.4%]	18,000 [36.0%]	+28.5%
販管費 [販管费率(%)]	12,034 [28.8%]	3,037 [34.8%]	6,400 [27.2%]	6,600 [24.9%]	13,000 [26.0%]	+8.0%
営業利益 [利益率(%)]	1,968 [4.7%]	△131 [△1.5%]	1,950 [8.3%]	3,050 [11.5%]	5,000 [10.0%]	+153.9%
経常利益 [利益率(%)]	2,322 [5.5%]	111 [1.3%]	2,000 [8.5%]	3,100 [11.7%]	5,100 [10.2%]	+119.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 [利益率(%)]	1,905 [4.6%]	△62 [△0.7%]	1,300 [5.5%]	2,300 [8.7%]	3,600 [7.2%]	+88.9%

セグメント別の業績予想

		2021年度	2022年度	(百万円)				
				通期実績	1Q実績	予想		
						上期	下期	通期
装置事業	受注高	43,535	14,406	20,200	21,700	41,900	△3.8%	
	売上高	34,518	7,221	20,000	22,100	42,100	+22.0%	
	営業利益	1,370	△45	1,850	2,770	4,620	+237.0%	
サービス事業	受注高	6,771	1,820	3,200	3,400	6,600	△2.5%	
	売上高	6,407	1,421	3,100	3,400	6,500	+1.4%	
	営業利益	618	△27	150	200	350	△43.4%	
その他事業	受注高	1,265	334	750	1,050	1,800	+42.2%	
	売上高	1,188	135	550	1,150	1,700	+43.1%	
	営業利益	△23	△56	△50	80	30	-	
連結消去	受注高	△269	△67	△150	△150	△300	-	
	売上高	△261	△52	△150	△150	△300	-	
	営業利益	2	△0	0	0	0	-	
計	受注高	51,303	16,493	24,000	26,000	50,000	△2.5%	
	売上高	41,852	8,725	23,500	26,500	50,000	+19.5%	
	営業利益	1,968	△131	1,950	3,050	5,000	+153.9%	

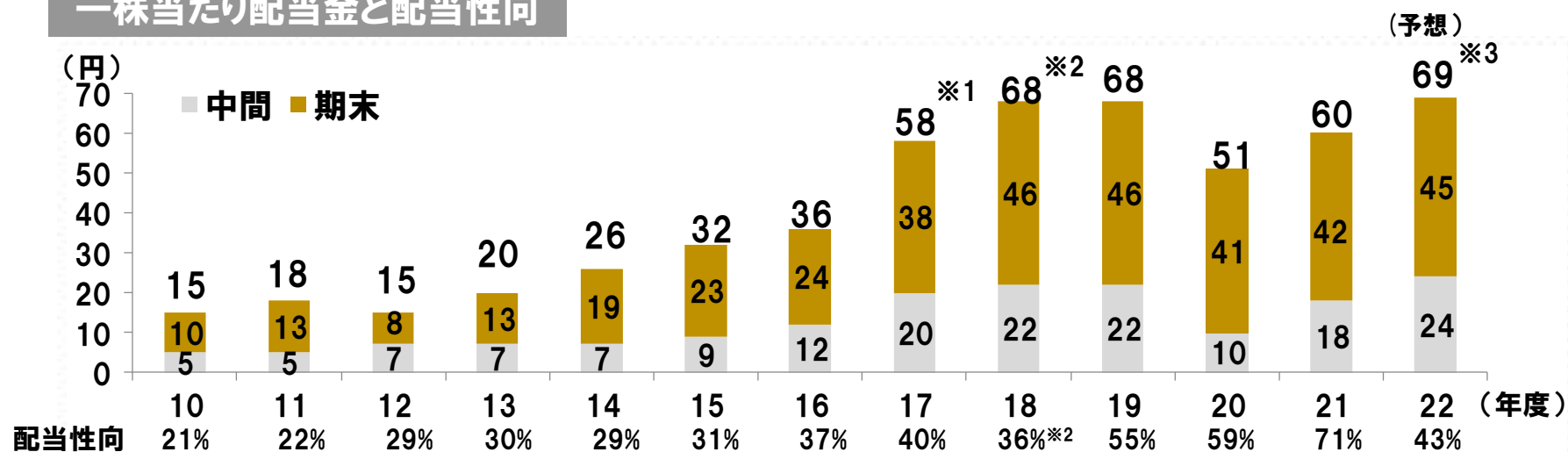
2022年度 配当予想

利益配分に関する基本方針

配当については継続性と連結配当性向を勘案して決定することを基本としていますが、2022年5月13日の取締役会において配当基本方針を以下のとおり改定しました。

- ・配当性向30%に加え、予定必要資金の超過金額の1/3を目途に配当として上乘せする
- ・安定配当として年20円の配当金を利益水準に関わらず維持するが、2期連続で最終赤字の場合は見直しを行う
- ・必要な内部留保の水準を考慮しつつ、自己株式取得を機動的に実施する

一株当たり配当金と配当性向



※1.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

※3.2022年度は創業75周年記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

2022年度の主な取り組み

装置事業

- ・先端技術分野の試験ニーズに応える製品ラインアップの拡充
- ・大型製品の海外市場投入によるカスタム製品のグローバル展開
- ・欧州市場向け製品の投入
- ・グローバルカスタマーを中心とする販売強化

サービス事業

アフターサービス : 新サービス「スーパーサポートプラン」による予防保全サービスの拡大
受託試験 : 先端技術分野向け試験サービスの拡充

新規事業

医薬品コールドチェーン事業や食品機械事業における市場浸透に向けた取り組み強化

2022年度のESGの主な取り組み

■E(環境)

- ・第8次環境中期計画(2022~2025年度)を推進
- ・地球温暖化対策:低GWP冷媒への置き換え
製造など事業活動におけるCO₂排出量削減
- ・生物多様性保全活動:エスペックミツクの事業による貢献
「法人の森」運営による保全活動の推進

■S(社会)

- ・社員(管理職・一般)への学び直し機会の拡大
- ・女性管理職の育成など多様な人材の活躍推進

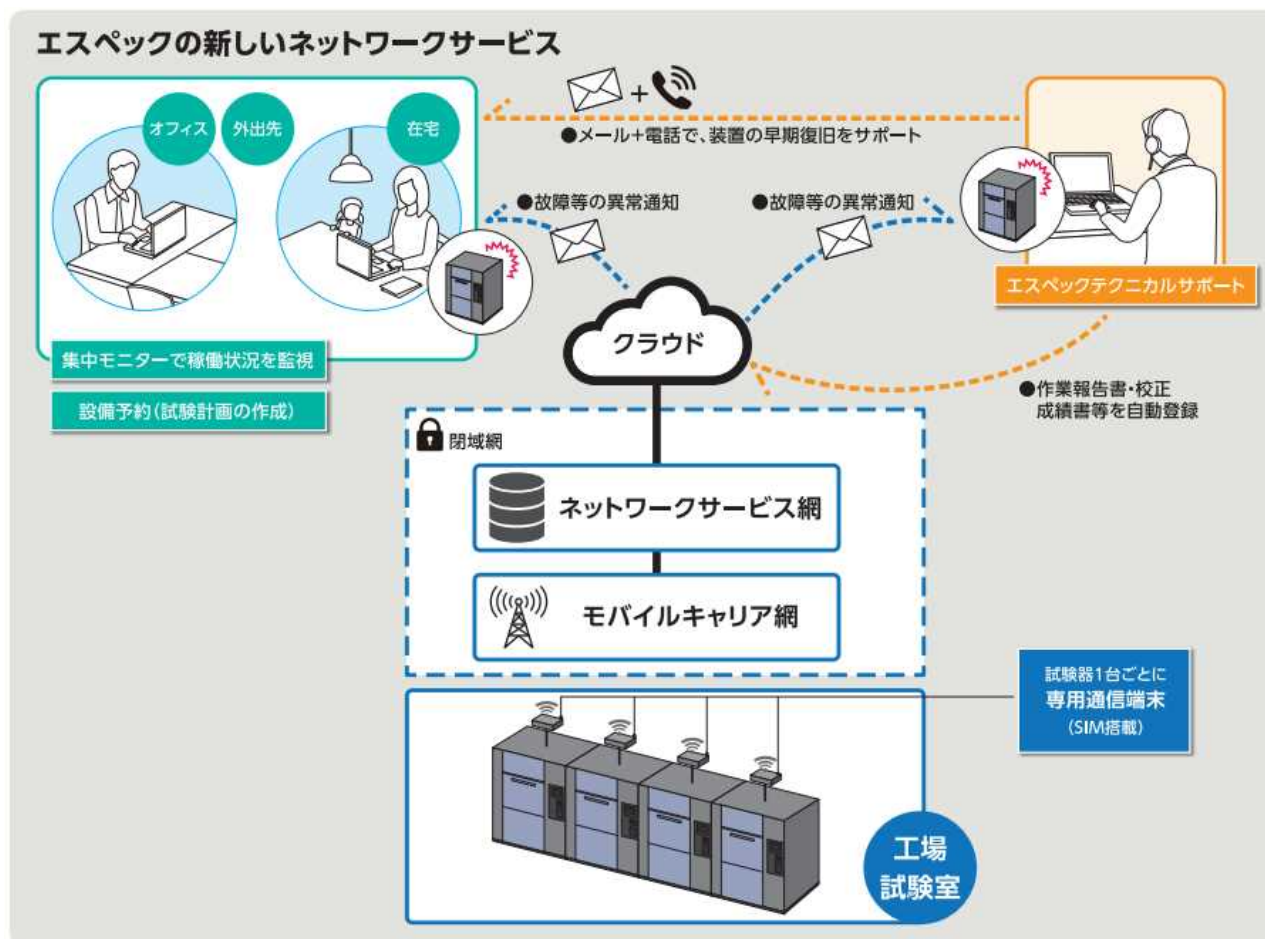
■G(ガバナンス)

- ・2022年4月1日、社長交代し新体制スタート
- ・2022年6月23日、株主総会にて監査等委員会設置会社への移行を決議
取締役会における審議の充実化、監督機能の強化
取締役会の多様性確保(女性取締役2名)

TOPICS

(2022年4月開始)

モバイル通信・クラウド活用「ネットワークサービス」 お客様の試験・設備管理の負担軽減、装置のダウンタイムを低減



TOPICS

気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) に基づく情報開示

- ・2021年12月 TCFDの提言への賛同を表明
TCFDコンソシアムにも参画
- ・2022年6月 有価証券報告書および社外
ホームページにてTCFDに基づき情報開示
- ・気候変動に関する情報の適切かつ積極的な
開示に努める



従業員参加型の寄付制度 「エスペックスマイルクラブ」

- ・SDGs推進活動の一環として、従業員の
寄付金に会社が寄付金を上乘せする
マッチングギフト制度を設置(2020年12月)
- ・子供と医療の社会貢献活動を行う団体に寄付
- ・2022年3月、公益社団法人セーブ・ザ・チルド
レン・ジャパンの「ウクライナ危機緊急子ども支
援」に総額758,800 円を寄付



社外からの評価

2022年7月

- ・東洋経済新報社「2022年版SDGs企業ランキング」334位



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022年4月

- ・ESG指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に初選定

2022年2月

- ・東洋経済新報社「2022年版CSR企業ランキング」334位



2021年12月

- ・CDP気候変動レポート2021において2年連続「Bスコア」
- ・日興アイ・アール「2021年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」
- ・ブロードバンドセキュリティ「Gomez IRサイトランキング2021」銅賞(業種別)



2021年11月

- ・日本経済新聞社「第5回スマートワーク経営調査」3つ星
- ・日本経済新聞社「第3回日経SDGs経営調査」3.5星



2021年10月

- ・日刊工業新聞社(経産省後援)「企業力ランキング」169位

2020年6月

- ・経産省「グローバルニッチトップ(GNT)企業100選」を連続受賞



**この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。**

【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

**サステナビリティ推進部 部長 中川
IR・広報グループ 大川・姜**

Quality is more than a word

ESPEC